

(様式)

普及項目	担い手
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	熊本有明海

有明地区漁業士会による医療従事者への本県産ノリの寄贈と PR

県北広域本部水産課・永田 大生

【背景・目的】

有明地区漁業士会（以下「漁業士会」という。）では、例年、地元児童を対象に水産業への関心を高め、将来の担い手育成につなげることを目的として、地曳網漁業体験及びノリ手すき体験教室を実施しており、水産課は事務局としてその支援をしてきた。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、教室開催の中止を余儀なくされた。そこで、漁業士会役員会において、今年度の取組内容を協議した結果、新型コロナウイルス感染症対応に尽力する医療従事者に感謝の気持ちを込め、本県産ノリの寄贈と PR を行うこととなった。

なお、漁業士会の取組みが一般県民に周知されるよう、マスコミ 1 社以上に取り上げられることを目標とした。

【普及の内容・特徴】

(1) 漁業士会役員会における今年度の取組内容の協議

月日：令和 2 年(2020 年)6 月 2 日

参加者：漁業士会役員 7 名 水産課 1 名

協議内容：新型コロナウイルス感染症予防対策のため、今年度の活動自粛を役員一同で決定。役員の提案で、当会の活動費からノリ製品を委託製造し、コロナ感染症対応への感謝の気持ちを伝えるため、医療従事者へのノリの寄贈と PR を行うこととした。

(2) 医療従事者への海苔の贈呈

月日：令和 2 年(2020 年)7 月 14 日、7 月 17 日

場所：熊本市民病院、荒尾市民病院、玉名公立中央病院、山鹿市民病院

参加者：漁業士会会員 2 名 水産課 1 名

実施内容：漁業士会と当課がデザインしたシールを貼付した半切 10 枚入り計 3,200 袋(16,000 枚分)のノリを委託製造し、当課が管内の市町村(荒尾市・玉名市・熊本市)、県漁連と連携し、日程調整を実施。漁業士が医療従事者(計 2,800 名分)へ本県産海苔を寄贈、PR した。

【成果・活用】

漁業士自らが今できることを考え、実行したことに大きな意義があると考えられた。なお、この取組みは、地元新聞と市町村広報誌に取り上げられ、一般県民へ漁業士会活動の周知を図ることができた。

【達成度自己評価】

5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）

(様式)

a) 漁業士が撮影した海苔漁場の
写真を使用



b)



c)



d)



e)

寄贈日時	寄贈先	寄贈数 (袋)	参加者
R2. 7. 14	熊本市市民病院	800	漁業士 2 名 当課 1 名
R2. 7. 17	①荒尾市民病院 ②玉名公立中央病院	①640 ②800	漁業士 1 名 当課 1 名
R2. 7. 22	山鹿市民病院 ※別機関経由で寄贈	560	漁業士 1 名
計		2, 800	

a) 地元海苔加工販売業者へ委託加工製造した海苔製品(半切 10 枚(全型 5 枚分)/袋)、b) 熊本市市民病院への海苔寄贈、c) 荒尾市民病院への海苔寄贈、d) 地元新聞紙への掲載(「有明新報」(R2. 7. 24))、e) 寄贈先一覧